

# WISH

2016年10月1日

発行：飯南高校PTA 広報委員会

島根県飯石郡飯南町野萱800 〒690-3401

Tel. 0854-76-2333 Fax. 0854-76-2344

URL <http://iinan.ed.jp>

特集

## 人権・同和教育「PTA活動」育成事業に係る 意識調査アンケート結果



今年度の主なPTA事業

- 4月 第1回PTA評議委員会
- 5月 PTA総会、第1回合同委員会
- 7月 第57回中国四国高P連、PTA環境整備活動
- 8月 オープンキャンパスボランティア、学校安全パトロール、第66回全国高P連、鵬雲祭（模擬店協力）
- 10月 校内ロードレース・豚汁サービス
- 12月 専門学校見学会

鵬雲祭 模擬店協力  
多くの生徒でにぎわいました！



## 人権・同和教育「PTA活動」育成事業によせて

飯南高校PTA会長 門 眞一郎

平素より飯南高校PTA活動に、ご理解とご協力をいただき厚くお礼を申し上げます。本年から2か年、飯南高校が人権・同和教育「PTA活動」育成事業に取り組むことになり、PTA副会長の田部宏幸さんが推進委員長に就任されました。

田部委員長を中心に飯南高校らしい取り組みを進めてまいりますので、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

さて、そもそも人権とは何でしょう。文献によると「人間が人間らしい生活をするうえで、生まれながらにして持っている権利」と述べてあります。権利は義務と表裏一体のようですが、この権利は多分唯一義務を伴いません。そして他人のこの権利を侵すことが認められている人は存在しません。

自由権という権利が憲法で認められています。しかし、この権利は何でもかんでも自由にしてもいいという権利を認めるものではありません。公共の福祉に反しないという限定的な自由です。

いま、様々な誤解の中で誤った行動をしている人がいるかもしれません。みんなでもう一度見直す機会になれば幸いです。



## 「人権・同教育のめざすもの」

飯南高等学校校長 吉 田 彰 二

日頃より保護者の皆様には、本校の教育活動にご理解と温かいご支援をいただきまして誠にありがとうございます。

飯南高校は、平成28年度から平成29年度の2年間、県の人権・同和教育研究指定校になりました。それに伴って本校PTAも人権・同和教育「PTA活動」育成事業を委託され、モデル指定校として取り組みが始まったところです。

近年、「アクティブ・ラーニング」「シティズンシップ教育」「主権者教育」「キャリア教育」など、新しい時代に向かう教育を表現した言葉をよく見かけます。これらの目的や内容は様々に重なり合い補い合っています。すべては変化する社会、多様な人々の中で「生きる力」を身に着けるための教育であり、人権・同和教育はその根幹をなす教育です。

飯南高校には、広い地域・多くの中学校から生徒が集まるようになりました。多様化した社会につながる程よい環境ができたと思う反面、人間関係づくりに不安を抱えている生徒もいます。充実した高校生活を送るためには、相互の認め合いが不可欠です。そこで、研究指定校として次の研究主題を設定しました。

「多様な個性や特性を理解して、認め合い学びあう態度を養い、互いのよさを生かして新たな考え方や生き方を創造する力をつける」

人権・同和教育は、家庭や地域、学校など至る所で行われるべき教育です。研究指定校となったこのチャンスを十分に生かして、やってよかった、生徒にこんな変化があったと言える2年間にしたいと思います。何とぞ、ご協力のほどをよろしく申し上げます。



# 「聞くと知るでは違う人権」

飯南高校PTA副会長、PTA人権・同和教育推進委員長 田部 宏 幸



今年から二カ年、飯南高校が人権・同和教育「PTA活動」育成事業に取り組むことになり、副会長の私が推進委員長に就かせていただくことになりました。改めてよろしくお願いたします。

さて、皆さんは「人権」、「同和」と聞かれてどのようにお感じでしょうか。硬いイメージ、よく分からないなど、正確に理解されている方は少ないのではと思うところです。

「人権」は歴史的にみると、ヨーロッパで生まれた考え方です。人は一人ひとりがかけがえのない、尊いものであるということから、いかなる場合にも踏みにじったり、無視したりしてはならないものを人権と考えたのです。見方を変えると、一人ひとりの個性を尊重し認め合うことだと思います。現代社会に置き換えると、その個性を助長（能力を伸ばすように助ける）し、個性や特徴として世に貢献すること。これが社会として形成されているのが現状だと思います。

では、子どもたちに視点を変えてみます。高校を社会として考えると生徒たちの個性はどうでしょう。先般、オープンキャンパスに参加された町外保護者の多数が、生徒たちのすばらしい挨拶に驚かれ、飯南高校を評価されていました。これこそ、生徒たちの個性が高校という社会に貢献している事例だと思います。今回のアンケートでは、あえて“人権”と表現していますが、表現を変えれば個性です。“個性”と表現するだけで身近に感じ受け入れやすくなるのは私だけでしょうか。

今後、このアンケートを機に、皆様の“個性”に対する意識が向上し、互いを尊重しあう社会を築いていけたら幸いです。子どもたちが気持ちよく、自らの個性に自信をもって羽ばたいていける環境を育てていきたいと思います。



人権・同和教育 LHR (6月)  
様々な「ちがひ」や、身分差別、就職差別について学びました。



第一回 PTA 評議員会 (6月)  
今後の PTA 事業について話し合いました。

## 今年度人権・同和教育 「PTA活動」育成事業計画

- ①意識調査 (6月)
- ②PTA 主催人権・同和教育講演会 (9月)  
大道芸人の経験から学ぶ子どもと夢との向き合い方  
講師／大道芸人 たつきゅうさん
- ③意識調査結果報告 (PTA広報「WISH」10月)
- ④振返り意識調査 (アンケート) …11月
- ⑤振返り意識調査結果報告 (PTA広報「WISH」2月)



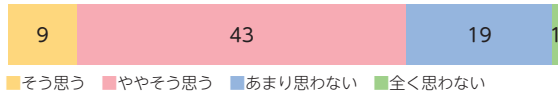
PTA主催 人権・同和教育講演会 (9月)  
楽しい大道芸とともに、夢どう向き合うのかについて話を聞きました。

# 人権・同和教育「PTA活動」育成事業に係る意識調査結果

今年度PTA人権・同和教育推進委員会では意識調査を実施しました。それでは、集計結果をご覧ください。

(保護者アンケート回収率 約39%)

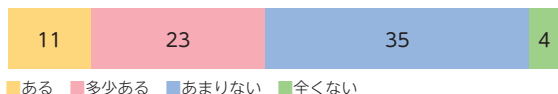
## Q1 現在、人権が尊重される社会と感じますか？



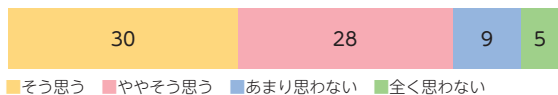
## Q2 これまで、人権について考えてみたことはありますか？



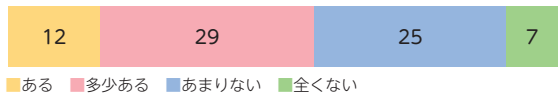
## Q3 ご家族の中で、人権について話し合ったことはありますか？



## Q4 人権には、人の個性や特性が関係すると思いますか？



## Q5 家族間の人権について考えたことがありますか？



## Q6 ご家族の中で、誰の人権について一番関心がありますか？



## Q7 これまで、人権を侵害されたことがありますか？



## Q8 お子さんの個性や特性を把握していますか？



## Q9 お子さん自身は、自らの個性や特性を理解していると思いますか？



## Q10 お子さんは、自らの個性や特性を生かしていると思いますか？



### [意識調査結果から]

意識調査の中で「人権について考えたことがある（Q2）」に対し「ある」「多少ある」が約83%とPTAの多くの方が人権について関心を持っておられました。その中でも「家族の誰の人権に一番関心があるか（Q6）」では、「子ども」の回答が約80%と高い割合を占めています。やはり「子どもの人権」が保護者にとっては一番気にかかるところです。また「人権には個性や特性が関係している（Q4）」と思われる方が多く、「子どもの個性や特性を把握している（Q8）」に対しては、ほとんどの保護者が「把握している」という回答でした。

一方で、「子ども自身は自分の個性を理解しているか（Q9）」「子どもは個性や特性を生かしているか（Q10）」では「している」「多少している」「そう思う」「ややそう思う」がQ8よりも少なく、私たち保護者は、「子どもたち自身が自分の個性を把握し、生かしていないのではないか」と感じることもあると考えられます。また、「家族の中で人権について話し合ったことがある（Q3）」は「ある」「多少ある」が約47%と半数以下の割合でした。

この機会に、親子で人権や個性について話し合ってみてはいかがでしょうか。

編集  
後記

今回は、皆様からのアンケートをもとに特集を企画しました。お忙しい中、アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。今後も飯南高校PTAは、生徒一人ひとりが輝けるよう応援していきます。

編集：PTA 広報委員会